

4. トラブルとその対応事例

4-1. 発生が想定される軽微なトラブル事例

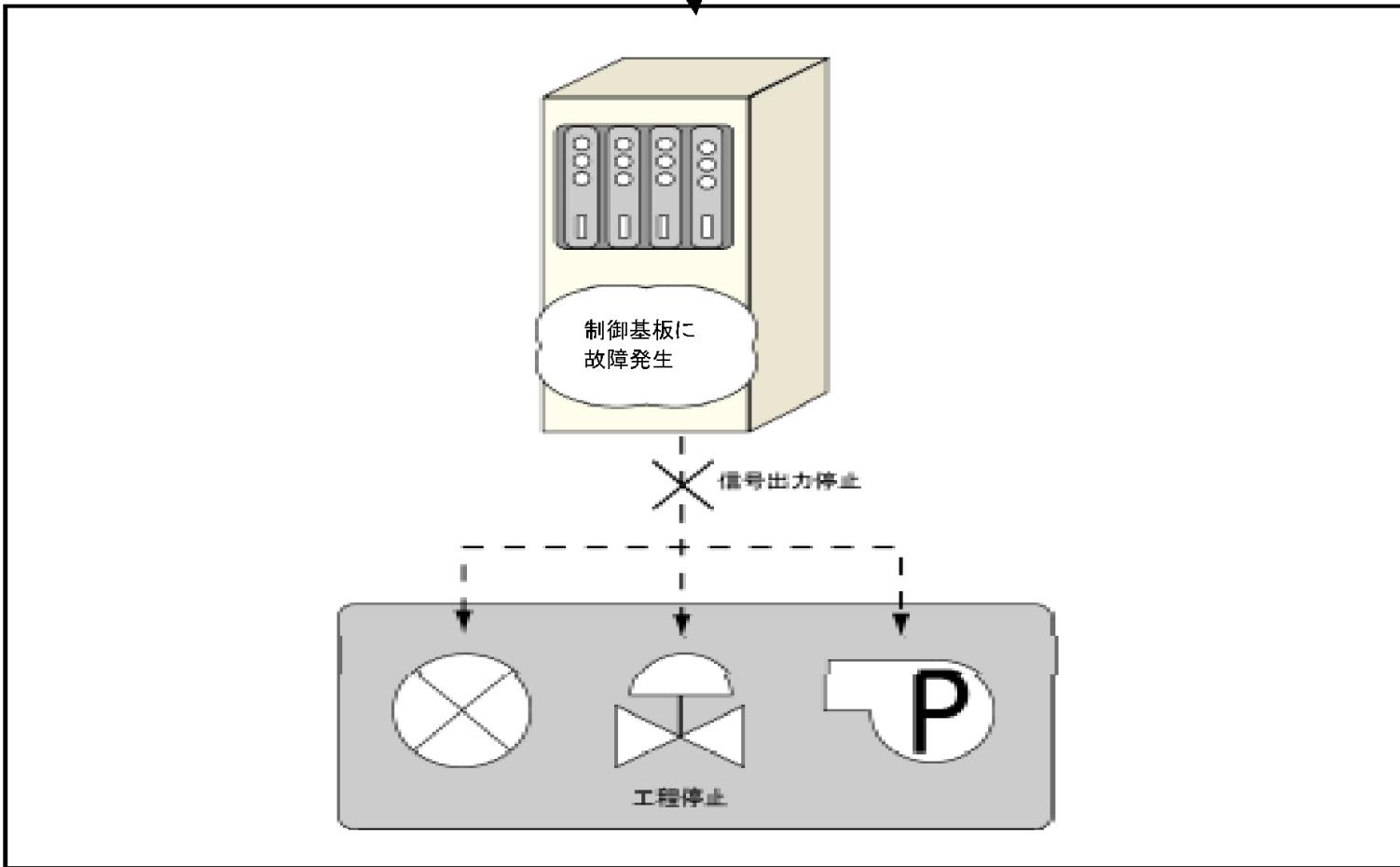
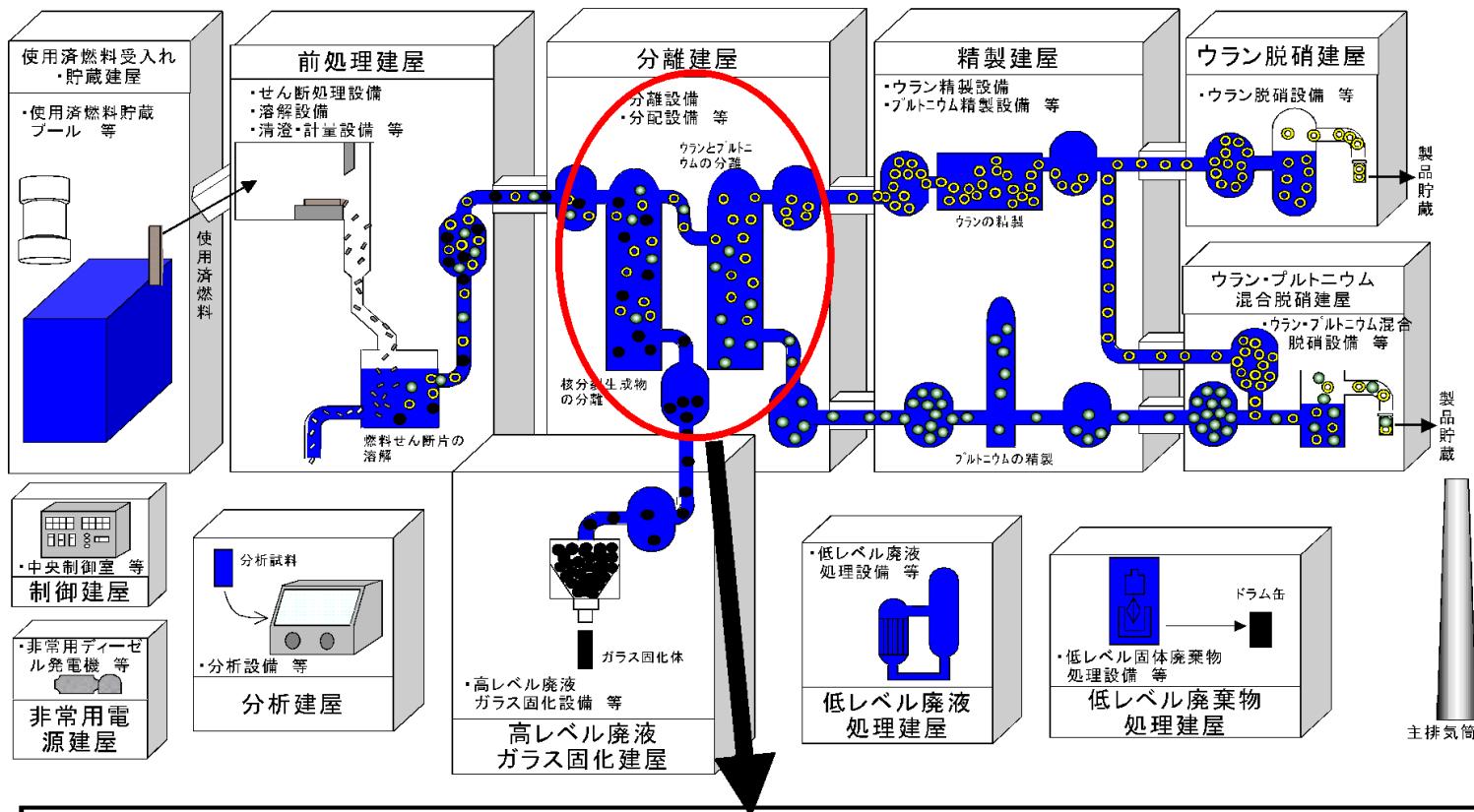
事象分類別 (C. 機器動作不良)

3-43. 制御盤の基板故障による分離・分配工程の運転停止

<p>事象の概要</p> <p>(1)発生場所：機器</p> <p>(2)設備の概要</p> <p>(3)発生の状況</p> <p>(4)概要</p> <p>(5)原因</p>	<p>分離建屋：分離・分配設備の制御盤</p> <p>分離・分配設備の自動運転を制御するためのコンピュータ。</p> <p>通常運転時およびインターキャンペーン時</p> <p>ウラン・プルトニウムを抽出するために溶媒の供給を制御している制御基板が故障し、溶媒の供給が停止したことにより、分離・分配設備が自動停止。 * 他の建屋も含め同種の機器においても、同様な事象の発生が予想される。</p> <p>運転を継続する中で偶発的に発生する制御基板の故障。</p>												
<p>事象による影響</p> <p>(1)工場外への影響</p> <p>(2)安全性への影響</p> <p>(3)作業員への影響</p> <p>(4)他工程への影響</p>	<p>工場外への影響は生じない。 放射性物質を除去するフィルタ等を有する分離建屋換気設備が稼働している建屋内での事象およびそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。なお、本事象は放射性物質の漏えいを伴うものではない。</p> <p>安全上の問題は生じない。 制御基板の故障に伴う弁の閉止動作を検知して、分離・分配設備が自動停止するものであり、これ以上事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。なお、当該自動停止回路が仮に作動しなかった場合でも、濃度異常等が生じた場合には自動停止する設計としている。</p> <p>作業員への影響は生じない。 基板故障の復旧作業では放射性物質を取り扱わないため、作業員への影響は生じない。</p> <p>上流、下流の工程の運転に影響が生じる。 当該工程が停止するため、上流や下流の工程については、その中間にある一時的な貯留槽の残液量により運転継続の可否を判断する。</p>												
<p>対応の概要</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 制御盤の異常を確認する。 2. 定められた作業手順に従って、当該制御盤が制御している機器類の状態および分離・分配工程の停止状態を確認する。 3. 定められた保守作業手順に従って制御盤を停止し、当該基板を予備品と交換して復旧する。 4. 復旧箇所に異常のないことを確認した後、手順に従い運転を再開する。 												
<p>公表区分</p>	<p>毎月集約して月 1 回公表（ホームページへ掲載）</p>												
<p>連絡区分*</p>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="3">トラブル情報</th> <th colspan="3">運転情報</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 情報</td> <td>B 情報</td> <td>C 情報</td> <td>ごく軽度な機器故障</td> <td style="background-color: #e0ffe0;">清掃・調整等で復旧可能な機器停止等</td> <td>不適合等</td> </tr> </tbody> </table>	トラブル情報			運転情報			A 情報	B 情報	C 情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等
トラブル情報			運転情報										
A 情報	B 情報	C 情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等								

*：『A情報』：安全協定報告事象等、または、それに準ずる事象、『B情報』：事象の進展または状況の変化によっては、安全協定報告対象になるおそれのある事象等、『C情報』：A、B情報に該当しない軽度な不具合、汚染等、特に連絡を要する事象

事象概要



復旧方法
 消耗品の交換により復旧

